

# 耕作放棄地 ゼロへの取り組みは



かつて田んぼとして活用されていた農地

**問** 耕作放棄地をパトロールしているはずだが、その後、所有者への指導や管理は。

**答** 耕作放棄地となる可能性がある場合は、所有者に確認し農地活用の意向調査もしながら登記の部分も含めて指導している。国の法改正により、地域計画を令和7年3月までに作成することが決まっている。地域との合意形成を図りながら進めていく。

**問** 耕作放棄地を抑止する取り組みが必要では。

**答** 農家組合や農業法人などに耕作をお願いするような仕組みづくりが必要。再生可能な遊休農地と再生困難な遊休農地など段階があり、段階ごとに早めの手を打っていく。また、地域で土地利用を考えていくことも大事である。

※地域計画

地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するもの。



菊池 洋人さん  
(小友町)

ひとこと

耕作放棄地をなくすのは難しい。後継者がいなくなっているところも多い。営農組合などあっても高齢化しているので、10年もすれば、耕作放棄地がもっと増えてしまうのではないかなと思う。1ターンなどで就農してくれる人を少しでも増やす方向にしてほしい。

# 危険な空き家を 増やさないために



空き家を増やさない取り組みが必要

**問** 令和4年度の空き家対策事業の評価は。

**答** 空き家相談会を11月に開催し、12件の相談があった。建築士、司法書士、宅建士、担当課職員4名で対応した。住民の安心安全を提供できた。

**問** 特定空き家の認定に至る判断は。

**答** チェックリストに基づき調査し、空き家対策本部会議に報告、意見を伺い、特定空き家と認定をしている。

**問** 現在特定空き家の物件数は。

**答** 令和5年3月のデータで、空き家全体が約900件、その内18件が特定空き家である。

**問** 今後の特定空き家件数の見通しは。

**答** 人口減少や、一人暮らしの高齢者が施設に入所する等により、空き家が増えると思われる。

※特定空き家とは  
倒壊や、衛生上有害となるおそれのある状態の空き家

# ルールが変わる ふるさと納税



遠野市ふるさと納税

**問** ふるさと納税の委託料が増加した要因は。

**答** ふるさと納税額が昨年同月比で2倍のペースで推移していることから、返礼品発送など関連業務の委託料を増額した。

**問** ふるさと納税のルールが10月以降に変更になるが、変更の内容と影響は。

**答** 総務省が定める、ふるさと納税基準のルール改正により、地元産原材料の規制や、加工のルール等が厳しくなる。

遠野市の返礼品の中で指摘されているのが

〈制度変更後の返礼品の取り扱い〉

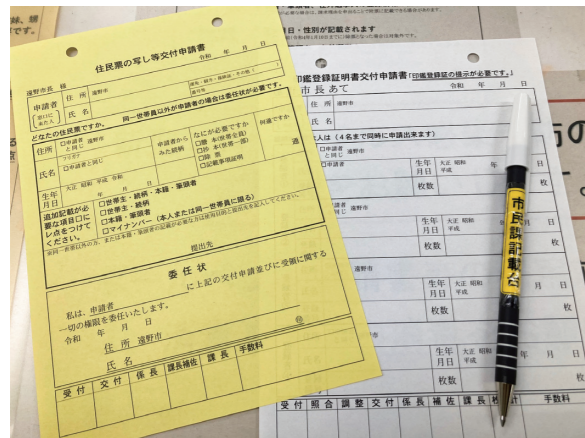
該当	・遠野産ホップのみ 使用のビール ・ジンギスカン
非該当	遠野産ホップを一部 使用のビール

(9月29日現在)

**問** ビールとジンギスカンだが、現時点(9月12日)で除外というわけではない。

**答** もし、除外となった場合の対策は考えているのか。

**答** 現在、ふるさと商社と体験型商品など協議して進めている。



現在の窓口での申請書

# 市役所の各種手続きが オンライン化

**問** 具体的にはどのようなことか。

**答** 申請書の提出など紙による手続きを、パソコンやスマートフォンを利用し、オンラインによりいつでもできる仕組みを作る。今年10月から順次取り組みを進めていく。

**問** パソコン等がないため、オンライン手続きができない市民はどうか。

**答** 窓口での手続きは

今までもおり継続していく。

**問** オンライン手続きを行う中で、個人情報の管理は万全か。

**答** 非常に重要なことであり、担当課だけでなく全部署で慎重に取り扱う。

**問** 各種オンラインサービスの提供開始について、市民への周知方法は。

**答** ホームページだけでなく、遠野テレビや広報誌等、いろいろな方法で細かいお知らせしている。

# 遠野市内企業のお仕事を紹介



人材確保が期待される遠野しごと展

**問** 令和4年11月に市内企業人材の確保事業として開催した「遠野しごと展」の参加者数は。

**答** 2日間で575名が参加した。市内参加者が70・6%であり、3割弱の方が市外からの参加者であった。

**問** 中学生や高校生の参加はあったか。

**答** 家族連れが多かったと思うが、令和5年度は高校生にも参加の機会を作るよう高校側と調整を進めている。

18の事業所や団体

**問** 参加しているが、どのような職種か。

**答** 主に製造業や建設業等、ものづくり関係の職種となった。今後はこの他に保健医療分野の参加も計画している。

**問** 令和4年度に市外から就職した方は何名か。

**答** 市が関わり、市外から市内に就職した中途採用者は26名だった。市外から遠野に移り住んで、働いてもらうための事業を今後とも進めていきたい。

